

画像電子学会セミナー
Advanced Image Seminar 2015 (AIS2015)

「画像認識技術の最新動向と応用」
[ポスターはこちらから入手できます](#)

画像認識技術はあらゆる場面で応用されており、近年では機械学習やクラウド技術と組み合わせた研究例も多く見られ、さらなる発展が期待されます。本セミナーでは、画像認識技術の最新動向について、入力デバイス、ディープラーニングやメディア探索などの最先端技術、スマートフォンや車両への応用例などを幅広く解説いたします。

主催：画像電子学会
共催：早稲田大学 国際情報通信研究科
協賛：映像情報メディア学会、情報処理学会、電子情報通信学会、日本印刷学会、日本画像学会、日本写真学会

開催日：2015年6月3日(水)
場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N第2会議室
東京メトロ 副都心線 西早稲田駅に直結
住所：〒169-8555 新宿区大久保 3-4-1
<http://www.waseda.jp/jp/campus/nishiwaseda.html>

参加費：一般会員(協賛学会会員を含む)15,000円/ シニア会員(減免制度利用の方)3,000円
非会員 20,000円/ 学生 3,000円
● 振込手数料はご負担願います。
● 非会員でお申し込み頂いた方で、入会希望の方は、入会金・初年度会費を含みます。
● 参加者には予稿集とともに、カラーで見やすい講演資料のCD-Rを配布予定です。
※ 賛助会員には特典があります。詳細はお申し込みの際、下記の学会事務局までお問い合わせください。

振込先：みずほ銀行 浜松町支店
口座番号:(普)1961408 口座名:画像電子学会

申込先：画像電子学会
〒116-0002 東京都荒川区荒川三丁目 35番 4 ライオンズマンション三河島第二 101号
TEL: 03-5615-2893, FAX:03-5615-2894, e-mail: kikaku@iieej.org

下記事項をご記入の上、学会事務局へメール、またはホームページ
(<http://iieej.org/trans/kenaf.htm>)よりお申込みください。

セミナー名「AIS2015」、参加者氏名、所属、連絡先、資格(会員、シニア会員、非会員、学生、協賛学会名等)、

※ 通信欄に請求書の有無と、懇親会への参加有無も記載ください。

【プログラム】

10:30-10:35 開会挨拶 筒口 拳 (NTT メディアインテリジェンス研究所)

10:35-11:20 「画像・映像・音の特定技術」

講師: NTT コミュニケーション基礎科学研究所 柏野 邦夫氏

スマートフォンで撮影するなどして得た画像や短時間の音・映像を問合せとし、予め用意しておいたコンテンツのデータベースと照合することで、問合せ中に含まれるコンテンツを瞬時に特定する「ロバストメディア探索技術」(RMS)を中心に、コンテンツ特定技術の概要と適用事例を紹介します。

11:30-12:15 「画像認識における多層畳込みネットの有効性とその理由、そして限界」

講師: 東北大学大学院 情報科学研究科 岡谷 貴之氏

多層の畳込みネットが、物体認識を中心とする画像認識のいくつかの問題で革命的に良い性能を見せています。最近の状況と、なぜ高性能なのか、その理由を探るべく行われている研究を紹介し、畳込みネットの限界についても考察します。

12:15-13:25 昼食

13:25-14:10 「入力系における顔画像認識技術」

講師: 画像電子学会フェロー・元キヤノン株式会社 河村 尚登氏

近年、デジタルカメラやビデオカメラなどの入力機器では、コンピュータの処理能力の向上に伴って顔画像の認識技術が発展し、誰でも簡単に美しい画像を撮影することができるようになりました。本講演では顔画像検出技術を中心に、表情の認識や個人識別、ペット検出機能等についても解説いたします。

14:20-15:05 「スマートフォンを用いた画像認識サービス「GAZIRU」の紹介」

講師: NEC 情報・メディアプロセッシング研究所 岩元 浩太氏

近年、画像認識技術を用いたアプリケーションが身近なものとなっており、スマートフォンへの実装も進んでいます。ここでは、スマートフォンのカメラをかざすだけで、実世界の様々なモノを認識する画像認識サービス「GAZIRU」について、その技術・実装と、これまでの実用例について解説します。

15:15-16:00 「車載用ステレオカメラによる立体物認識」

講師: 東京工業大学 物理学科 実吉 敬二氏

最近、衝突回避や自動運転用にステレオカメラが注目されています。本講演では、演者の25年以上に及ぶ車載用ステレオカメラの研究を背景に、ステレオカメラの優位性、物体認識の手法、実用化するうえでのポイント、自律走行への応用などを解説します。また、企業における基礎研究の進め方にも言及できればと思います。

15:55-16:00 閉会挨拶 筒口 拳 (NTT メディアインテリジェンス研究所)

○本セミナー終了後、講師の方、聴講者の方を含めた懇親会を予定しています。詳細は当日ご案内させていただきますが、ぜひご参加ください。

○タイトル、内容は変更になる可能性があります

以上